

生物を育てる技術について知ろう

1 小学校で育てたり身の回りで育てられたりしている動植物を思い出しましょう。

--

2 **1**で挙げた動植物はどのような環境で育っているか考えましょう。

動植物名	育っている場所, 環境

3 生物を育てるためにはどのような技術が利用されているか調べましょう。

--

4 スプラウトの育成条件の違いによる育ち方の違いについて考えましょう。また、選択した育成条件に○印を付けましょう。





育成条件	育ち方の違い (予想)

5 気づいたことをまとめましょう。

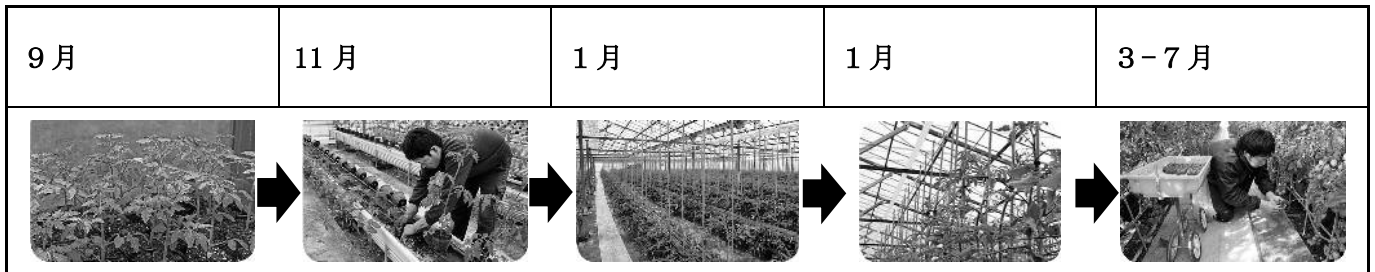
--

植物を育てる技術を知ろう

1 植物の環境を整える技術をまとめましょう。

環境要因	環境を整える技術	栽培方法と技術の例	
気象環境			
	温度の管理		
土壌環境			
	土の管理		
生物環境	微生物, 害虫の活動を制御		

2 ミニトマトの促成栽培で使われている技術をまとめましょう。



3 作物を栽培する技術と工業製品などを生産する技術はどのようなところが違うかまとめましょう。

動物を育てる技術を知ろう

- 1** 家畜として育てられている動物にはどのようなものがあるか、それらの家畜はどのようなことに利用され、その畜産物にはどのようなものがあるか調べましょう。

家畜としての動物	その用途や畜産物
(例) 乳牛	乳, 肉

- 2** 動物を健康に育てるために必要な管理技術について調べましょう。

作業	作業内容	目的
環境・衛生		
給餌・病気の予防		
繁殖		

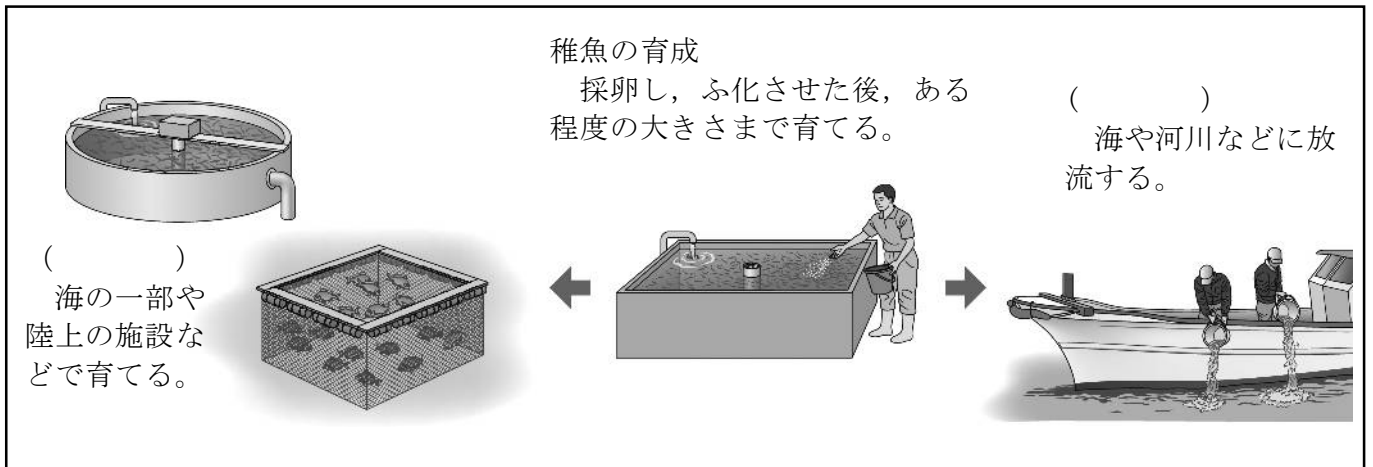
- 3** 動物を育てる技術と植物を育てる技術の違いについてまとめましょう。

動物を育てる技術	植物を育てる技術

水産生物を育てる技術を知ろう

1 水産生物を育てる技術について、()の中に適切な語句を入れましょう。

- ① 日本は四方を海に囲まれ、水産生物は生活に欠かせない()である。日本は以前、水産生物の自給率が100%を超えていたが、水温などの()の変化と()などにより、()が減少し、輸入で補わなければならない状況になってきている。
- ② ()に水産生物を供給するために、()のままではなく人の手によって水産生物を育てる()や、天然の環境を利用して水産生物を増やす()の技術が注目されている。



2 水産生物の養殖を題材に、「環境を整える技術」と「成長を管理する技術」について、それぞれ配慮することをまとめましょう。

環境を整える技術		成長を管理する技術	
養殖を行う場所で配慮すること	水質で配慮すること	給餌で配慮すること	健康の管理で配慮すること